

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和05年06月05日

計画の名称	姫路市における浸水対策の推進(2)(防災・安全)(重点計画)											
計画の期間	令和04年度 ~ 令和08年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○
交付対象	姫路市											
計画の目標	集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う被害リスクの増大に対し、流域が一体となって総合的な浸水対策を実施することにより水害に強い都市を構築し安全安心な市民生活及び事業活動の確保を図る。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	20,483	A	20,483	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R4当初)	中間目標値 (R6末)	最終目標値 (R8末)
1	下水道による浸水対策達成率を37.8%から41.0%にする。 下水道による浸水対策達成率 浸水対策完了済面積(ha) / 浸水対策すべき面積(9,927.0ha)	378(×0.1)%	380(×0.1)%	410(×0.1)%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	×	避難行動要支援者名簿の提供	○
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R04	R05	R06	R07	R08			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	姫路市	直接	姫路市	管渠（ 雨水）	新設	雨水管渠整備事業（市内 排水区）	雨水幹線等の整備	姫路市						4,775	-	
	A07-002	下水道	一般	姫路市	直接	姫路市	-	新設	雨水貯留施設整備事業（ 市内排水区）	雨水貯留施設・貯留管の整備	姫路市						2,322	-	
	A07-003	下水道	一般	姫路市	直接	姫路市	ポンプ 場	新設	雨水ポンプ場整備事業（ 市内排水区）	雨水ポンプ場の整備	姫路市						9,776	-	
	A07-004	下水道	一般	姫路市	直接	姫路市	ポンプ 場	改築	雨水ポンプ場改築事業（ 市内排水区）	雨水ポンプ場の改築	姫路市						3,110	策定済	
	A07-005	下水道	一般	姫路市	直接	姫路市	終末処 理場	新設	下水道施設耐水化事業	処理場・ポンプ場の耐水化	姫路市						500	-	
												小計						20,483	
												合計						20,483	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04				
配分額 (a)	1,212				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	1,212				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	79				
翌年度繰越額 (f)	1,133				
うち未契約繰越額 (g)	143				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	11.79				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	関係機関との調整に時間を要したため。				

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 姫路市における浸水対策の推進（２）（防災・安全）（重点計画）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 1) 上位計画（総合計画、生活排水処理計画、都市計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 2) 下水道の諸計画（合流式下水道緊急改善計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 3) 関連する諸計画（河川整備計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) 必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 1) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 2) 目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 関連する関係機関等の調整が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 1) 事業実施に向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 2) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

(参考図面)

